

テーマ

子どもを伸ばすほめ方って？



エピソード

はると君は算数が苦手です。毎日の宿題にとっても時間がかかります。でも、間違いを直したり、家でもお父さんやお母さんに教えてもらったりしながら宿題をしていました。

すると、ある日の算数のテストが90点でした。今までで一番良い点数なのではると君は大喜びし、家で、にこにこ笑顔でテストを見せました。

ワーク1

あなたなら、はると君にどんな言葉をかけますか？

ワーク2

その言葉を聞いて、はると君は、どんな気持ちになるでしょう。

話し合いの後に、ワーク3をお書きください

ワーク3

これから、お子さんをほめることについて、心がけたいことを書きましょう。

子育てのヒント

ポイント

笑顔で、一緒に喜んで♪

どこをほめるか = **どんな人**になってほしいか



資料

○ ほめられたことを繰り返そうとするので、どこをほめるかが大事

スタンフォード大学のほめ方の実験

能力・結果を
ほめた場合

「頭がいいね」 → ・頭の良さを示そうと、難しい問題にチャレンジ
しないようになる
・解けないと自信をなくし、成績が落ちた



努力・学ぶ姿勢を
ほめた場合

「よく頑張ったね」 → ・向上心をもってより難しい問題に
チャレンジし、成績が伸びた

○ 以前の自分と比べて成長ポイントを見つける

その子の良さを見のがさず、言葉で伝える
他の人と比べると、優越感・劣等感をもってしまう



○ 笑顔で、一緒に喜ぶ →本気で喜んでくれていると伝わる

○ 子どもは「ほめてほしい」と望んでいる

「親がどうしてくれるとうれしく思いますか？」
→「良かった時、ちゃんとほめてくれる」

小学5年生 **54%** 中学2年生 **47%** (複数回答)

(R3 福井県家庭教育に関するアンケートより)

